

# 平成29年度西播磨地域夢会議 参加者発言記録（H29.10.9）

## 1 ワールドカフェ テーマ別発表

### テーマ1：安心・安全

#### テーブル6

- ・西播磨の魅力：千種川の水が豊かで綺麗。農業が盛んで特産品が多い。
- ・人を呼ぶためには、産婦人科のある病院を増やす、高齢者のためにバスを増やす、テクノポリスから情報発信、特産品をSNSでPRする。
- ・生活するためには、地域住民とコミュニケーションを取ること。そのためには小さくてもいいのでお祭りを増やす、地域で盛り上がる行事を作る。

#### テーブル3

- ・西播磨の魅力：比較的災害が少ない。
- ・人を呼ぶためには、西播磨の安全性や支え合い活動を情報発信する。
- ・安心安全な地域をつくるには日頃から地域のコミュニケーションや家族との話し合いが大切で、その事を他の地域の方に知って貰う情報発信が必要。

#### テーブル2

- ・西播磨の魅力：自然豊かで特産物が多い。
- ・人を呼ぶには、例えばたつの市だと醤油や素麺などの特産品を売り出す、静かで住みやすい地域だと情報発信し移住者を増やす。
- ・子育てしやすくするためには、中高一貫の教育実施。小さい子どもの遊び場を作る。
- ・地域で助け合ってコミュニケーションを深めることが大切。

#### テーブル1

- ・西播磨の魅力：人々が温かい。
- ・農業を推進し、安心安全な作物を作る。
- ・人を呼ぶには、空き家を旅館にして住んでもらう。特産品を情報発信しPRする。自治会毎に空き家を利用して、高齢者の余暇を使って保育所にするなど。

#### テーブル4)

- ・西播磨の魅力：自然豊か。ソーシャルキャピタルの充実。
- ・子どもが外遊びできるようなイベントを開催する。
- ・沢山のお祭りなど、都市部にはない良さをPRし、移住者を呼び込む。

## テーブル9

- ・西播磨の魅力：治安が良い。食文化や祭り、踊りなどの無形文化。
- ・自ら動いて西播磨の魅力を広めたり、SNSで発信することが重要。
- ・住んでもらうには、仕事、医療機関、交通手段の充実が必要。
- ・そのためには空き家を有効活用してもらおう。

## テーブル7

- ・西播磨の魅力：自然豊かで過ごしやすい環境、伝統行事が多い。挨拶運動などのボランティアも多く居心地が良い。
- ・人を呼ぶには、自然豊かな体験をSNSにて西播磨在住の人が投稿し拡散させる。若者向けの施設がないので、娯楽施設を増やし、高齢者のためには医療機関を充実させる。

## テーブル5

- ・西播磨の魅力：自然豊かで、人とのつながりが深い。
- ・住んで貰うには、子育て支援の充実、電車の本数を増やす等の交通網の充実。西播磨の良さをSNSで発信する。
- ・お年寄りと話し、新しい考え方を持つ機会を増やす。

## テーブル8

- ・西播磨の魅力：資源（特産物：塩、牡蠣、ミカン等）、自然が豊か。空気が綺麗。
- ・空き家や地域コミュニケーションを利用。
- ・祭りなどの伝統行事を引き継ぐこと。
- ・SNSを利用し、地元においても出来る産業（OA機器を利用）を呼び込み、地域を活性化する。

## **テーマ2：チャレンジ**

### テーブル11

- ・西播磨の魅力：緑が多く豊かな自然、宍粟市には森林セラピーや森林大学校がある。
- ・SPring-8の魅力を広げることで西播磨地域を活性化させる。また、SPring-8には地域外の人が勤務しているため、西播磨の魅力を伝え、広げて貰う。
- ・人と人がつながる、ネット環境を整え自宅勤務可能にすると強みになる。

### テーブル12

- ・西播磨の魅力：自然豊か、歴史が魅力
- ・職業選択肢が少なく交通の便がネック。電車の本数を増やしてほしい。
- ・交通の利便性をあげると、西播磨をPRしやすくなり定住にもつながるのでは。

### テーブル15

- ・西播磨の魅力：自然と伝統文化
- ・人を呼ぶには、SNSにて情報発信し、古民家や田畑活用。異文化の受け皿を作る。
- ・即効性はないが、大事なものは出来ないとききめないで、チャレンジしていくこと。
- ・人、地域、教育、行政の4つの歯車が円滑に動くようにすることが大事。

### テーブル13

- ・西播磨の魅力：自然や祭り、歴史があり、ユニークな人がいる。
- ・人を呼ぶには、インターネットやSNSで国際的に誇れる西播磨を発信する。  
例えば、自然や歴史を生かしてストーリー性のあるツアーを企画する。
- ・自治体は、興味を引くような分かり易い、情報発信方法が必要。
- ・みんなで魅力ある西播磨を作っていきたい。

### テーブル14

- ・西播磨の魅力：自然、それしかない。
- ・廃校や空き家、限界集落を逆に利用する。外国では村ごとホテルにしている。
- ・田舎暮らしにあこがれている人を呼び込む。ホテル宿泊は一時的なものだが、ゆくゆくは西播磨に住むことに繋がるかもしれない。
- ・地産地消ではなく、地産外消を目指す。安心なものとして外に出す方が売れる。
- ・生活するには、地域の繋がり大事。子育てには子どもの見守りなどの充実が必要。
- ・相生市の子育て支援が充実しているので、他の自治体も追随すれば、西播磨全体が住みやすくなるのではないかな。

## **テーマ3：交流**

### テーブル19

- ・西播磨の魅力：自然豊か。文化的イベント等が多い。皮革を始めとする産業がたくさんある。
- ・人を呼ぶには、インターネット等の色々な発信方法を利用する。自転車の利用促進。
- ・特定の人をターゲットにして呼び込む。オタクの街を作ろう。
- ・自然豊かで美味しい食材がある。子どもが喜ぶ場所を作ることが必要。

### テーブル20

- ・西播磨の魅力：鞍居桃、赤穂の塩、素麺、醤油等の特産品。自然が豊か。忠臣蔵等の歴史。
- ・買い物や食事が出来る観光ホテルが必要。
- ・ユーチューブやライン、ツイッター等のSNSによる情報発信で交流を図る。
- ・生活するには：若者が働ける場所、子育てしやすい環境づくり、医療の充実  
若者が戻ってくるように、郷土愛を育ててもらいたい。

### テーブル18

- ・西播磨の魅力：自然豊か。千種川、揖保川、海、森林など。
- ・人を呼び込むためには、地域全体で魅力を発信する。SNSが重要。
- ・交通が不便なため、バスの本数や駅を増やす。
- ・田植え、稲刈りを授業に取り入れ、小学生に体験させたり、3世代交流を図る。歴史や自然を伝えていく。地元で熱意を持つ後継者、リーダーを育てていく。

### テーブル17

- ・西播磨の魅力：赤穂の義士祭、相生のペーロン祭などのたくさんのイベント。モロヘイヤ、いちじく等の特産品
- ・人を呼ぶには、SNS（Instagram、Twitter、フェイスブック等）を利用し、観光客ではなく、地元の人が発信。いろんな地域の意見を取り入れる。
- ・共働きが多いが子どもを預けるところが不足している。例えば太子町阿曾地区では空き家が多いので、子どもを預ける施設として利用し、高齢者が子どもにどろんこ遊びを教えたり、伝統を伝えていく場として活用してはどうか。

### テーブル16

- ・西播磨の魅力：豊かな自然、交通機関を使うとすぐに街に行けるという利便性
- ・食文化や歴史などを個々の自治体ではなく、西播磨地域で売り出す。
- ・人を呼ぶには、SNSでの情報発信が重要。西播磨を知って貰う機会を作る。
- ・地元住民が他地域の人に魅力を伝えられるくらい地元を知ることが大切。情報を広める拠点づくりが必要。

## **2 第8期西播磨地域ビジョン委員会専門委員による講評**

### 山本建志氏（第5期西播磨地域ビジョン委員長）

- ・人口減少をメリットとしてとらえている。空き家が増えると、住むところが増える。逆転の発想。

### 谷川和昭先生（関西福祉大学社会福祉学部准教授）

- ・兵庫県福祉コミュニティ憲章では、ノーマライゼーションが実現した社会を目指している。本日の議論は、西播磨モデルの礎となったのではないかと。